



ひよこ組

【6月の保育のねらい】

- ・安定した生活リズムで心地よく過ごす。
- ・保育者に見守られながら、腹ばいやハイハイ、歩行などで身体を動かすことや、探索することを楽しむ。



月号 クラスだより

<テラス気持ちいいね！>

日差しが暖かく、気持ちの良い風が吹いていた5月。ひよこ組では、お天気の良い日は、テラスに出て過ごしてきました。テラスにマットを敷いて、おもちゃに触れたり、わらべうたを保育者と楽しんだりしながら、外の空気を感じていたようです。こどもたちは外が大好きで、テラスへ出ると、抱っこされていた子も、自らハイハイや、つかまり立ちで探索するようにもなりました。時々吹いてくる風にうっとり顔になる子もいて、「気持ちがいいね。」「風が吹いてきたね。」と、一緒に心地良さを共感しています。

外の空気や光に触れることで、体温の調節機能が高まったり、風や音、においなど五感の刺激となったり、光や刺激を感じることで生活リズムが整いやすくなったりすると言われています。良いこといっぱいの外気浴。テラスに出て、こどもたちの発達へとつなげていきたいと思います。



りす組

【6月の保育のねらい】

- ・保育者と室内遊びや感触遊びなどを楽しむ。
- ・自分の思いや要求を安心して表そうとする。

<真似っこ遊びを楽しむこどもたち>

こどもたちもクラスの生活に慣れ、おままごとや車、積み木、絵本など毎日自分の好きな遊びを見つけて楽しく過ごしています。

おままごとでは、抱っこひもを使ってぬいぐるみを抱っこやおんぶし、チェーンをお皿にのせてご馳走を作っています。また、小さなペットボトルをジュースに見立てて飲む真似をしたりと、真似っこ遊びも楽しんでいます。保育者の真似をして、ぬいぐるみに子守唄を歌いながらトントンして寝かせていたりもします。ときには、保育者が昼食時に頭につけている三角巾の真似をしたくて、おもちゃ用の布を頭につけてご飯を作って、渡しに来てくれる姿はとても可愛いです。遊びがより充実するよう身近な生活の中にあるままごと道具を揃えたり、同じイメージをもって遊べるように生活の再現遊びをたくさんしていきたいと思っています。何より、こどもに真似っこされる大人でありたいと思います。



うさぎ組

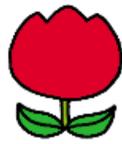
【6月の保育のねらい】

- ・食事、排泄、着替えなどの生活をできるだけ自分でやり、「自分で出来た！！」という経験をたくさんする。
- ・アオムシや夏野菜の成長を楽しみにする。

<ダンゴムシ大好き>

最近のこどもたちは、散歩先でダンゴムシ探しに夢中になっています。薬師公園の花壇には必ずいるのですが、台公園や平和の森公園ではあまり見つけられないので、「どこの公園に行きたい?」「公園で何したい?」とこどもたちに聞くと、「ダンゴムシさがしたい」「薬師公園がいいー」という子が多いです。公園に着くとすぐさま花壇に向かい、雑草をかき分けてダンゴムシ探しが始まります。自分で捕まえて手のひらに乗せられる子もいれば、チョンチョンと触れることはできても手のひらに乗せるのは怖い子もいれば、見るだけで精一杯の子もいます。しかし、ダンゴムシを見ている時の表情はみんな笑顔いっぱいでもっとも楽しそうです。お部屋の中にもダンゴムシの絵本があります。メスは黄色い点々が表面にあるそうです。公園でメスを発見し、「絵本にのってるダンゴムシだー。背中が黄色いからお母さんダンゴムシだとおもうよ。」とオスのダンゴムシとメスのダンゴムシを並べてみせると「お母さんには黄色い点々ある〜」「赤ちゃん産むのかな?」「赤ちゃんかわいいといいね」など色々な感想が出てびっくりしました!!5月はダンゴムシが大好きなこどもたちと絵の具を使ってダンゴムシ作りもしました♪6月はみんなで植えた夏野菜も育てて来ると思います。また飼いはじめたアオムシも蝶々になるかもしれません。こどもたちが日々感じる楽しいこと、興味のあること、小さな変化を感じ、楽しいと思える活動をたくさん取り入れていきたいと思っています。





ちゅうりっぷ組

【6月の保育のねらい】

- ・正しい姿勢で食事をする。
- ・育てている野菜の生長を観察し、収穫を楽しむにする。

<毎朝のリズム運動>

ちゅうりっぷ組になってからは、二つのグループに分かれて、交互にリズム運動をしています。友だちの動きを見て“おもしろいな”、“いいな”と思った動きはどんどん取り入れ、それぞれが自分の表現を楽しんでいます。

その後はお部屋に帰って“朝の会”をしています。保育者が「今日は何をして遊ぼうか」「～を作ってみよう」「夏野菜は何を育てようか」等、こどもたちに話すと、一人ひとりが自分の気持ちを一生懸命伝えようとしています。みんなの前で話す事は、少し緊張や恥ずかしさもありますが、友だちに自分の話を聞いてもらえることも満足感や自信に繋がっているようです。

こどもたちがやりたい事や「なんで?」「どうして?」「どうやって?」と興味を持ったことを体験できるように大人が工夫しながら、想像力や好奇心、探求心などを育てていきたいと思えます。

こどもたちが気持ちよく活動に入っていけるように、登園時間（リズムが始まる9：00まで）のご協力をお願いいたします。



さくら組

【6月の保育のねらい】

- ・生活や遊びの中で必要な言葉の遣いかたに気付く。
- ・友だちと一緒に泥や水をつかった遊びを楽しむ。

<植えてみたい>

おやつに食べた果物の種を植えたり、窓際の球根の生長に興味をもったりと、植物に関心が高まっていた4月末ごろ。『まっかっかトマト』という絵本の巻末に栽培方法が載っていたことをきっかけに、「育ててみたい!」の気持ちが高まってきました。夏野菜の植え付け時期も近かったので、早速全員で話し合いをしました。それぞれの育ててみたい野菜や好きな野菜などを挙げてもらったり、本を見ながらそれぞれの適した時期を調べたりしながら、今回はキュウリ・トマト・ナス・カボチャを栽培することになりました。

GWも明けた5月中旬。遂に野菜の苗が届くと、「これがトマト（の苗）?」「もう紫の花咲いちゃってる!」「○○ちゃん、キュウリ植えたーい!」と賑やかに話していました。同じ野菜を植えたい友だちと一緒に集まって土をつかったら、少し穴を掘って苗を置き、優しく土を寄せてたっぷりとお水をあげました。その日以来、テラスに出ると「大きくなったかな〜」「まだトマトできないね〜」と観察している姿がみられるようになりました。

「植えたらおしまい!」ではなく、しっかりとお世話をしていこうねと気持ちをそろえて始まった、栽培活動。どうか豊作となり、みんなで沢山食べられますように!



もみじ組

【6月の保育のねらい】

- ・共通の目的に向かって、一緒にやろうという気持ちをもつ。
- ・夏野菜や虫の世話をしていきながら、植物や生き物への興味関心を深める。

<夏野菜の栽培>

集まりで話し合いをした結果、今年のもみじぐみは、とうもろこし・きゅうり・とまと・すいか・おくらの5種の野菜を育てることになりました。苗を植える前から「大きなとうもろこしができたらかぶりつきたい!」「きゅうりはみそきゅうにしようよ」などと、育てた野菜をどのように調理して食べようかと考えが尽きないこどもたちでした。そして、

- とうもろこし…かぶりついて食べる、
とうもろこしご飯にする
- きゅうり…みそきゅう(味噌をつけて食べる)
- とまと…餃子の皮ピザのトッピングにする
- すいか…切って食べる
- おくら…納豆に混ぜて食べる

こんな風に食べることにしました。

収穫してみんなでおいしく食べることができるよう、実がなっていく過程を本や図鑑で調べたり、水やりや雑草抜きなどの世話をしたりして、みんなで一緒に育てていきたいと思えます。

